

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2016-540565

(P2016-540565A)

(43) 公表日 平成28年12月28日(2016.12.28)

(51) Int.Cl.
A 4 7 J 39/02 (2006.01)F I
A 4 7 J 39/02テーマコード (参考)
4 B O 6 6

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2016-534712 (P2016-534712)
 (86) (22) 出願日 平成26年11月25日 (2014.11.25)
 (85) 翻訳文提出日 平成28年6月23日 (2016.6.23)
 (86) 国際出願番号 PCT/US2014/067334
 (87) 国際公開番号 W02015/077761
 (87) 国際公開日 平成27年5月28日 (2015.5.28)
 (31) 優先権主張番号 14/089,748
 (32) 優先日 平成25年11月25日 (2013.11.25)
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 594136516
 ヘニー・ペニー・コーポレーション
 Henny Penny Corporation
 アメリカ合衆国オハイオ州45320, イー
 トン, ユー・エス・ルート・35・ウエ
 スト 1219, ビー・オー・ボックス
 60
 (74) 代理人 100107766
 弁理士 伊東 忠重
 (74) 代理人 100070150
 弁理士 伊東 忠彦
 (74) 代理人 100091214
 弁理士 大貫 進介

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 保持トレイ用カバー

(57) 【要約】

保持装置は、中に食品を保持するように構成されるトレイと、中にトレイを保持するように構成される保持部と、保持部内で保持されるトレイを覆うように構成されるカバーとを含む。カバーは、覆い部と、一対のフランジ部と、フランジ部の各々において形成される溝とを有し、覆い部は、一対のフランジ部間に配置されている。溝は、フランジ部の各々の縁部から延伸する第1部分と、支持部と、第1部分と支持部との間に形成される第2部分とを有する。保持装置は、カバーが、突起部と溝の支持部との間の接触を介して保持部内で吊るされるように、保持装置に配置され、かつ、溝に連結されるように構成される、突起部を更に含む。

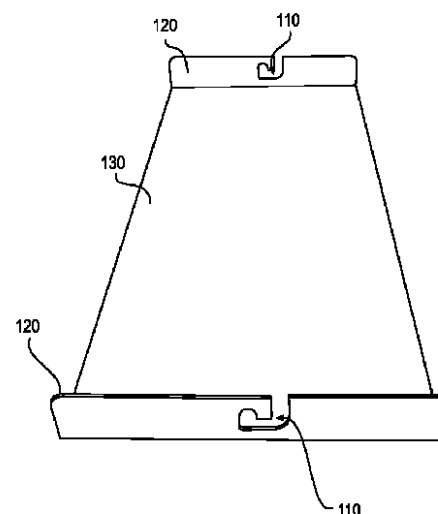


FIG. 2

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

保持装置であって、
中に食品を保持するように構成されるトレイと、
中に前記トレイを保持するように構成される保持部と、
前記保持部内で保持される前記トレイを覆うように構成されるカバーであり、前記カバーは、
覆い部と、
一对のフランジ部であり、前記覆い部は、前記一对のフランジ部間に配置されている、一对のフランジ部と、
前記フランジ部の各々において形成される溝と、を有し、
前記溝は、前記フランジ部の各々の縁部から延伸する第 1 部分と、支持部と、前記第 1 部分と前記支持部との間に形成される第 2 部分とを有する、カバーと、
前記カバーが、突起部と前記溝の前記支持部との間の接触を介して前記保持部内で吊るされるように、前記保持装置に配置され、かつ、前記溝に連結されるように構成される、突起部と、
を含む、保持装置。

10

【請求項 2】

前記第 1 部分及び前記支持部は、実質的に垂直に形成され、前記第 2 部分は、実質的に水平に形成されて前記第 1 部分を前記支持部と接合する、請求項 1 に記載の保持装置。

20

【請求項 3】

前記フランジ部は、前記覆い部から実質的に垂直に延伸する、請求項 1 に記載の保持装置。

【請求項 4】

前記トレイは、前記トレイの周縁に沿う縁部を含む、請求項 1 に記載の保持装置。

【請求項 5】

前記カバーの前記覆い部は、前記保持部に保持される前記トレイの前記縁部と接触するように構成される、請求項 4 に記載の保持装置。

【請求項 6】

前記トレイは、前記保持部内に摺動可能に挿入されるように構成され、前記カバーと摺動接触を行う、請求項 1 に記載の保持装置。

30

【請求項 7】

前記溝の幅は、前記突起部の大きさに対応する、請求項 1 に記載の保持装置。

【請求項 8】

前記支持部は、前記第 1 部分に対して実質的に平行である、請求項 1 に記載の保持装置。

【請求項 9】

前記支持部は、前記第 2 部分に対して実質的に直立である、請求項 1 に記載の保持装置。

【請求項 10】

複数の突起部は、前記保持装置の対向する表面上に配置され、前記カバーは、前記フランジ部の各々において形成される前記溝の前記支持部と接触する前記複数の突起部を介して吊るされる、請求項 1 に記載の保持装置。

40

【請求項 11】

前記覆い部は、前記覆い部によって覆われる前記トレイの湿度を調整するように構成される通気口を含む、請求項 1 に記載の保持装置。

【請求項 12】

保持装置の保持部内に保持され、中に食品を保持するように構成されるトレイを覆うように構成されるカバーであって、当該カバーは、
覆い部と、

50

一对のフランジ部であり、前記覆い部は前記一对のフランジ部間に配置されている、一对のフランジ部と、

前記フランジ部の各々において形成される溝と、
を含み、

前記溝は、前記フランジ部の各々の縁部から延伸する第 1 部分と、支持部と、前記第 1 部分と前記支持部との間に形成される第 2 部分とを有し、

前記カバーが、突起部と前記溝の前記支持部との間の接触を介して前記保持部内で吊るされるように、前記溝は、前記保持装置に配置される前記突起部に連結されるように構成される、

カバー。

10

【請求項 1 3】

前記第 1 部分及び前記支持部は、実質的に垂直に形成され、前記第 2 部分は、実質的に水平に形成されて前記第 1 部分を前記支持部と接合する、前記請求項 1 1 に記載のカバー。

【請求項 1 4】

前記フランジ部は、前記覆い部から実質的に垂直に延伸する、請求項 1 1 に記載のカバー。

【請求項 1 5】

前記カバーの前記覆い部は、前記保持部に保持される前記トレイの縁部と接触するように構成される、請求項 1 1 に記載のカバー。

【請求項 1 6】

20

前記溝の幅は、前記突起部の大きさに対応する、請求項 1 1 に記載のカバー。

【請求項 1 7】

前記支持部は、前記第 1 部分に対して実質的に平行である、請求項 1 1 に記載のカバー。

【請求項 1 8】

前記支持部は、前記第 2 部分に対して実質的に直立である、請求項 1 1 に記載のカバー。

【請求項 1 9】

前記覆い部は、前記覆い部によって覆われる前記トレイの湿度を調整するように構成される通気口を含む、請求項 1 1 に記載のカバー。

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、概して、中に食品を保持するための加熱保持キャビネット引出しのトレイカバー及びそのようなトレイカバーを含む保持装置に関する。

【背景技術】

【0002】

例えば、鶏肉、魚、ポテト食品などのさまざまな食品を調理した後、そのような食品は加熱キャビネット内部の保持トレイに置かれ得る。トレイは、調理済みの食品を加熱キャビネット内に保持する保持トレイ内部に水分を含むように、トレイカバーによって覆われる。特にパン粉をまぶしていない食品では、水分の封じ込めは、食品が加熱キャビネット内のトレイに保持されている保持期間中に食品が乾燥することを防ぐのに重要である。

40

【発明の概要】

【0003】

従って、中に食品を保持する保持トレイのためのカバーの需要があり、これは、関連技術のそれら及び他の欠点を克服する。本発明の実施形態に従ったトレイカバーは、中に調理済みの食品を保持する保持キャビネットトレイの内部に水分を含むように構成されることができ、それにより、食品廃棄物を減らし、食品の品質を向上させる。

【0004】

本発明の一実施形態において、保持装置は、中に食品を保持するように構成されるトレ

50

イト、中にトレイを保持するように構成される保持部と、保持部に保持されるトレイを覆うように構成されるカバーとを含む。カバーは、覆い部と、一对のフランジ部と、フランジ部の各々に形成される溝とを含み、覆い部は、一对のフランジ部の間に配置される。溝は、フランジ部の各々の縁部から延伸する第１部分と、支持部と、第１部分と支持部との間に形成される第２部分とを含む。保持装置は、カバーが突起部と溝の支持部との間の接触を介して保持部に吊るされるように、溝に連結されるよう構成され、かつ、保持装置上に配置される突起部を更に含む。

【０００５】

本発明の別の実施形態において、カバーが、保持装置の保持部内で保持される食品を中に保持するように構成されるトレイを覆うように構成される。カバーは、覆い部と、一对のフランジ部と、フランジ部の各々に形成される溝とを含み、覆い部は、一对のフランジ部の間に配置される。溝は、フランジ部の各々の縁部から延伸する第１部分と、支持部と、第１部分と支持部との間に形成される第２部分とを含む。溝は、カバーが突起部と溝の支持部との間の接触を介して保持部に吊るされるように、保持装置上に配置される突起部に連結されるように形成される。

【０００６】

トレイカバーの１つの利点は、それが、道具を使用することなく容易に取り外し可能な一体型設計であるということである。別の利点は、トレイが保持ユニット内部で覆われ、かつ、保持キャビティ内外に摺動されることを可能にして、ユーザの相互作用を有することなく食品にアクセスするという点である。トレイカバーの更なる利点は、その取り外しやすさに起因してカバーを容易に清潔にすることができ、カバーを手によってか、あるいは、食洗機内部で洗浄することができる。

【０００７】

本発明の他の目的、特徴、及び利点は、本発明の実施形態の以下の詳細な記載及び添付の図面の観点から、当業者に明らかであろう。

【図面の簡単な説明】

【０００８】

本発明の実施形態、それによって満たされる必要性、その目的、特徴及び利点をより完全に理解するために、添付の図面と併せて以下の説明を参照する。

【図１Ａ】本発明の一実施形態に従ったトレイカバーの斜視図である。

【図１Ｂ】本発明の一実施形態に従ったトレイカバーの正面側面図である。

【図１Ｃ】本発明の一実施形態に従ったトレイカバーの側面図である。

【図２】本発明の一実施形態に従ったトレイカバーの正面斜視図である。

【図３】本発明の一実施形態に従った、保持装置内に取り付けられているトレイカバーの正面図である。

【図４】本発明の一実施形態に従った、保持装置の保持キャビネットから部分的に除去されるトレイを有する保持装置内に取り付けられるトレイカバーの正面図である。

【図５】本発明の一実施形態に従った、保持装置内に取り付けられるトレイカバーの斜視図である。

【図６】本発明の一実施形態に従った、保持装置内に更に取り付けられるトレイを有する保持装置内に取り付けられるトレイカバーの斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【０００９】

本発明の実施形態、それらの特徴及び利点は、図１～図６を参照することによって理解されることができ、同等の番号は、様々な図面中の対応する部分のために用いられている。

【００１０】

本発明の一実施形態によると、図１Ａは、トレイカバー１００を描く。トレイカバー１００は、２つのフランジ部１２０間に配置される実質的に平坦な覆い部１３０を含むことができる。覆い部１３０は、実質的に矩形の断面でよい。図１Ｃに描かれるように、フラ

ンジ部 120 は、覆い部 130 に対して実質的に直立でよい。フランジ部 120 は、覆い部 130 から上方に延伸することができる。覆い部 130 は、保持トレイ 400 を覆うように構成され得る（図 4 参照）。例えば、覆い部 130 の長さ及び幅は、保持トレイ 400 の大きさに対応する。

【0011】

溝 110 は、フランジ部 120 の各々に形成され得る。図 1 B に描かれるように、溝 110 は、フランジ部 120 の縁部から延伸する第 1 部分 112 を有することができる。第 1 部分 112 は、実質的に垂直に延伸することができ、例えばフランジ部 120 の縁部に対して、実質的に直立でよい。第 2 部分 114 は、第 1 部分 112 から延伸することができ、かつ、支持部 116 を接合することができ、これにより、第 1 部分 112 と支持部 116 との間に配置される。第 2 部分 114 は、実質的に水平に延伸することができる。支持部 116 は、第 1 部分 112 に対して実質的に平行でよい。支持部 116 は、第 2 部分 114 に対して実質的に直立でよい。第 2 部分 114 は、間に形成される湾曲部と共に第 1 部分 112 と交わることができる。支持部 116 は、間に形成されるコーナー部と共に第 2 部分 114 と交わることができる。代替的に、湾曲部はコーナー部でよい、かつ／あるいは、コーナー部は湾曲部でよい。従って、溝 110 は、実質的に J 形状又は実質的に U 形状でよい。支持部 116 は、幅方向においてトレイカバー 100 の実質的に中心に配置され得る。

【0012】

本発明の一実施形態によると、図 2 は、トレイカバー 100 の正面図を描く。トレイカバー 100 は、覆い部 130 から上方に屈曲されるフランジ部 120 との単一要素でよい。代替的に、フランジ部 120 は、覆い部 130 から分離して形成され得る。

【0013】

本発明の一実施形態によると、図 3 は、保持装置 300 内に取り付けられているトレイカバー 100 の正面図を描く。突起部 310 は、保持装置 300 の表面上、キャビネット部 320 の上方に配置され得る。突起部 310 は、保持装置 300 の表面に固定されるか、あるいは、その表面と一体的に形成される、ピン、ノブ、クギ、シリンダー等でよい。溝 110 の幅は、突起部 310 の幅に対応することができる。トレイカバー 100 は、突起部 310 が溝 110 の第 1 部分 112 に入ることによって溝 110 に連結されるように、トレイカバー 100 を挿入することにより、キャビネット部 320 内に取り付けられ得る。トレイカバー 100 は、移動を続けることができ、これにより、突起部 310 は、第 1 部分 112 から第 2 部分 114 へ、次いで、支持部 116 へと、溝 110 に沿って移動する。

【0014】

例えば、トレイカバー 100 は、突起部 310 が第 1 部分 112 を介して溝 110 に入るように、実質的に垂直上方に動かされ得る。トレイカバー 100 は、次いで、突起部 310 が溝 110 の第 2 部分 114 に沿って移動するように、実質的に水平に動かされ得る。突起部 310 が、トレイカバー 100 の実質的に垂直の動きを介して、溝 110 の支持部 116 内に移動すると、トレイカバー 100 は、定位置に固定及び保持され得る。図 4 に描くように、トレイカバー 100 が取り付けられるとき、支持部 116 が突起部 310 を介してトレイカバー 100 を定位置に支持するように、突起部 310 は、支持部 116 の支持縁部と接触することができる。支持縁部は、突起部 310 の形状に対応して形付けられ得る。突起部 310 は、保持装置 300 の前後の壁の各々に配置されて、フランジ部 120 の各々に形成される溝 110 に対応することができる。

【0015】

図 4 に描かれるように、保持トレイ 400 は、トレイカバー 100 の下のキャビネット部 320 内に挿入され得る。保持トレイ 400 は、キャビネット部 320 内に摺動可能に取り付けられ得る。保持トレイ 400 は、保持トレイ 400 の上方の周縁に沿って縁部 410 を形成する縁又は枠を有することができる。保持トレイ 400 が取り付けられると、縁部 410 は、トレイカバー 100 と摺動接触を行うことができる。代替的に、縁部 41

10

20

30

40

50

0は、小さな間隙が間に形成されるように、トレイカバー100からわずかに分離され得る。代替的な実施形態において、トレイカバー100は、保持トレイ400の縁部410と係合する溝を有することができる。他の代替的な実施形態において、トレイカバー100は、トレイカバー100の側縁部から下方に延伸して、保持トレイ400の縁部410に隣接して配置されるか、あるいは、保持トレイ400の縁部410と係合する、実質的に垂直のフランジを有することができる。

【0016】

本発明の一実施形態によると、図5は、キャビネット部320内に取り付けられるトレイカバー100の斜視図を描く。取り付けられるとき、トレイカバー100は、フランジ部120内に形成される溝110の支持部116と接触する突起部310を介してキャビネット部320内で吊るされ得る。トレイカバー100は、重力を介して支持部116と接触して突起部310と共に定位置に置かれることができ、これにより、トレイカバー100は、保持装置300の正面及び背面上に配置される突起部310を介して保持装置300に掛かっている。従って、トレイカバー100は、挿入される保持トレイ400のためのトレイカバー100の下空間を有するキャビネット部320の上方部内に配置され得る。更に、フランジ部120は、保持装置300の表面に隣接することができ、その上には、突起部310が配置される。

【0017】

図6に描かれるように、保持トレイ400がキャビネット部320内に取り付けられるとき、トレイカバー100は、保持トレイ400を覆うように構成される。例えば、トレイカバー100は、保持トレイ400の周縁を越えて延伸することができる。保持トレイ400の縁部410は、保持トレイ400の全周縁の周りで、トレイカバー100の覆い部130と接触することができる。従って、トレイカバー100は、保持トレイ400の内部と周囲大気との間に障壁を作ることによって、保持トレイ400の内部に水分を含むことができる。キャビネット部320は、加熱されることができ、食品は保持トレイ400内に保持され、かつ、保持期間中にキャビネット部320内に挿入され得る。トレイカバー100は、保持期間中にキャビネット部320内にある間、保持トレイ400内に水分を含み、食品の乾燥を低減させる。

【0018】

更に、トレイカバー100は、いずれかの側から、つまり、パススルー方式（pass-through system）で、保持トレイ400がキャビネット部320に挿入され得るか、あるいは、キャビネット部320から除去され得るように構成される。保持トレイ400は、キャビネット部320内外に摺動されて、道具又は追加的なユーザの動作なしに、保持トレイ400内に保持される食品へアクセスすることができる。言い換えると、トレイカバー100が、溝110の支持部116及び突起部310を介して定位置に吊るされるので、ユーザは、カバー又は蓋を除去する必要なく、単にキャビネット部320から保持トレイ400を引き出すことによって、保持トレイ400内に保持される食品へアクセスすることができる。更に、トレイカバー100は、道具を必要とすることなく容易に取りつけられ、かつ、除去されるので、トレイカバー100を手又は食洗機によって容易に洗浄することができる。

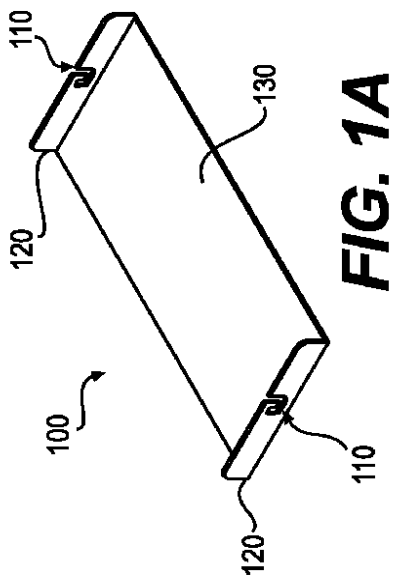
【0019】

代替的な実施形態において、トレイカバー100は、複数の溝110を含んで複数の突起部310に対応することができ、突起部310からトレイカバー100は吊るされ得る。更に、代替的な実施形態において、トレイカバー100は、保持トレイの異なる形状及び大きさに対応するように、さまざまな異なる形状及び大きさで形成され得る。また、代替的な実施形態において、トレイカバー100は、保持トレイ400の湿度を調整するために、その中に通気口として形成される穿孔を有することができ、これは、保持トレイ400の内部と周囲大気との間の一部の空気連通を可能にすることができ、これにより、一部の水分が保持トレイ400から漏れることを可能にする。

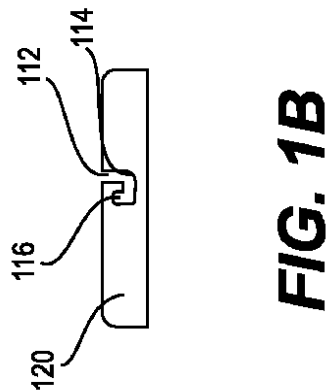
【0020】

本発明を好ましい実施形態との関係において説明してきたが、本発明の範囲から逸脱することなく、上述の好ましい実施形態の他の変形及び変更を行うことができるということが当業者によって理解されるだろう。他の実施形態は、ここに開示する本発明の明細書の検討又は実施から当業者に明らかであろう。明細書及び既述の実施例は、例示的に過ぎないと考えられ、本発明の真正な範囲及び精神は、以下の請求項によって示される。

【図 1 A】



【図 1 B】



【図 1 C】

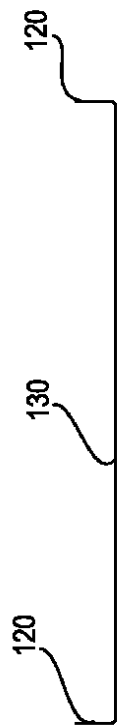


FIG. 1C

【図 2】

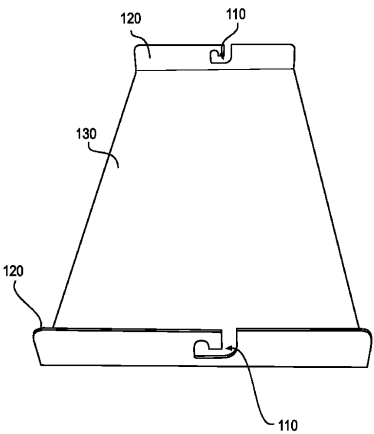


FIG. 2

【図 3】

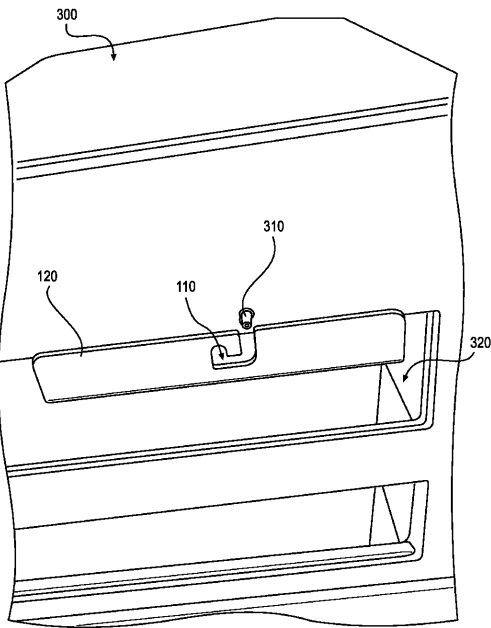


FIG. 3

【図 4】

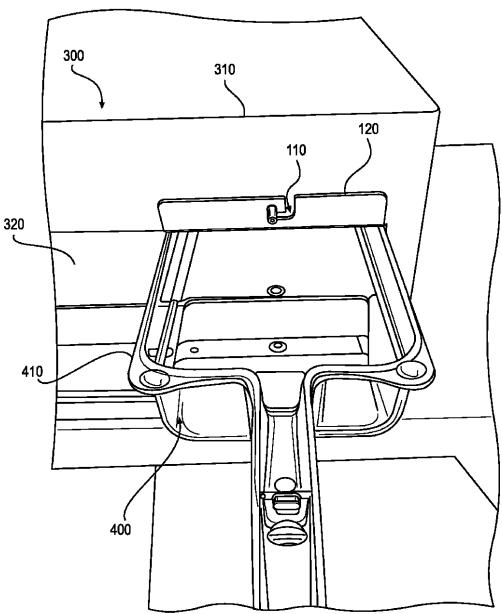
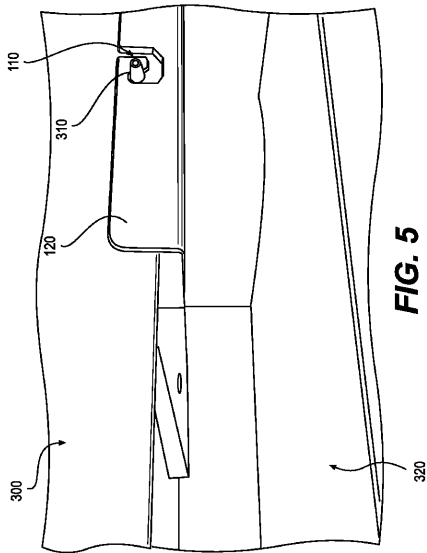
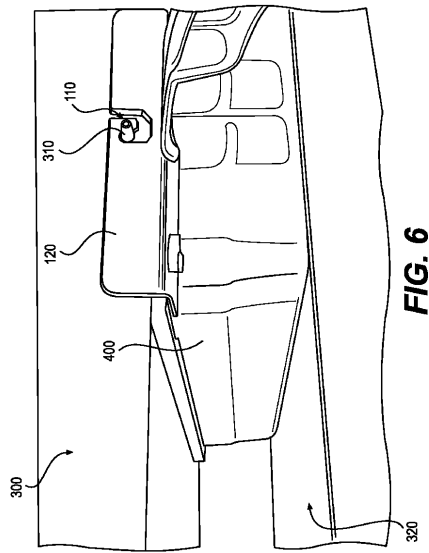


FIG. 4

【図 5】



【図 6】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International application No. PCT/US2014/067334
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER A21C 13/00(2006.01)i, A21B 3/13(2006.01)i, A21B 3/15(2006.01)i According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) A21C 13/00; A23L 1/01; F24C 7/04; A47J 39/00; A47J 36/24; A47J 39/02; A21B 1/22; A21B 3/13; A21B 3/15 Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Korean utility models and applications for utility models Japanese utility models and applications for utility models Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) eKOMPASS(KIPO internal) & Keywords: holding apparatus, tray, cover, flange portion, channel, projecting portion		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	US 2007-0108178 A1 (JONES) 17 May 2007	1-10, 12-18
Y	See claims 1, 3, 32; paragraphs [0081], [0084] and figures 1-7.	11, 19
Y	US 6541739 B2 (SHEI et al.) 01 April 2003 See claims 1, 10.	11, 19
A	US 2012-0076903 A1 (MACIEJEWSKI et al.) 29 March 2012 See paragraphs [0032]-[0041], [0055]-[0074] and figures 1-2, 9-16.	1-19
A	US 8404292 B2 (VELTROP et al.) 26 March 2013 See column 3, line 64 - column 5, line 25; column 6, line 7 - column 7, line 41 and figures 5-9.	1-19
PX	US 2014-0010937 A1 (STANGER) 09 January 2014 See claims 1-6; paragraph [0051] and figures 1-1B, 9A-9C.	1-19
☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 03 March 2015 (03.03.2015)		Date of mailing of the international search report 03 March 2015 (03.03.2015)
Name and mailing address of the ISA/KR  International Application Division Korean Intellectual Property Office 189 Cheongsa-ro, Seo-gu, Daejeon Metropolitan City, 302-701, Republic of Korea Facsimile No. ++82 42 472 7140		Authorized officer KIM, Seung Beom Telephone No. +82-42-481-3371 

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No.

PCT/US2014/067334

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
US 2007-0108178 A1	17/05/2007	CA 2626420 A1 CA 2626420 C CN 101355899 A CN 101355899 B EP 1937122 A2 EP 1937122 A4 HK 1128392 A1 JP 04944893 B2 JP 2009-511231 A KR 10-1016353 B1 KR 10-2008-0057347 A NZ 567507 A NZ 590721 A US 7385160 B2 WO 2007-047597 A2 WO 2007-047597 A3 ZA 200803419 A	26/04/2007 03/01/2012 28/01/2009 23/03/2011 02/07/2008 27/03/2013 28/10/2011 06/06/2012 19/03/2009 22/02/2011 24/06/2008 25/02/2011 30/06/2011 10/06/2008 26/04/2007 01/11/2007 30/09/2009
US 6541739 B2	01/04/2003	AT 311578 T AU 2000-41877 A1 CA 2367679 A1 CA 2367679 C CA 2565947 A1 CA 2565947 C CA 2566819 A1 CA 2566819 C CN 100177537 C CN 100346237 A CN 100606913 A CN 100606913 B DE 60024422 D1 DE 60024422 T2 EP 1164852 A2 EP 1164852 B1 ES 2254162 T3 JP 2002-539873 A KR 10-0509521 B1 US 2001-0007322 A1 US 2002-0121509 A1 US 6175099 B1 US 6262394 B1 WO 00-57709 A1 WO 00-57709 A8	15/12/2005 16/10/2000 05/10/2000 23/01/2007 05/10/2000 09/02/2010 05/10/2000 29/09/2009 01/12/2004 24/04/2002 20/04/2005 02/02/2011 05/01/2006 17/08/2006 02/01/2002 30/11/2005 16/06/2006 26/11/2002 23/08/2005 12/07/2001 05/09/2002 16/01/2001 17/07/2001 05/10/2000 22/03/2001
US 2012-0076903 A1	29/03/2012	US 2009-266244 A1 US 8091472 B2	29/10/2009 10/01/2012
US 8404292 B2	26/03/2013	US 2009-199725 A1 US 2012-079699 A1	13/08/2009 05/04/2012

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No.

PCT/US2014/067334

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
		US 8096231 B2	17/01/2012
US 2014-0010937 A1	09/01/2014	AU 2015-280743 A1	22/01/2015
		WO 2014-004291 A1	03/01/2014

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US

(72)発明者 シールズ, マイケル

アメリカ合衆国 4 5 3 2 0 オハイオ州, イートン, ユー・エス・ルート・3 5・ウエスト 1
2 1 9, ヘニー・ペニー・コーポレーション内

(72)発明者 ロース, ブラッドリー

アメリカ合衆国 4 5 3 2 0 オハイオ州, イートン, ユー・エス・ルート・3 5・ウエスト 1
2 1 9, ヘニー・ペニー・コーポレーション内

Fターム(参考) 4B066 AA05 AB10 BA06